

外国人介護人材受入れにかかる事業について

1 経緯

県内の介護職員数は、2025年度には約2万8千人の不足が見込まれており、介護人材の確保は喫緊の課題となっている。県では、これまで、介護分野への新規就業や離職者の再就業の促進、事業者と求職者のマッチング機能の強化、介護職員のキャリアアップの支援などに取り組んできたところだが、今年度はさらに、外国人介護人材の就業促進に本格的に取り組むこととした。

2 千葉県留学生受入プログラム

在留資格「介護」を取得し、介護福祉士として県内介護施設で就労することを目指す外国人留学生を支援する。

(1) マッチング支援

県が委託するマッチング機関が、留学生を現地の日本語学校から、県内の日本語学校、介護福祉士養成施設、介護施設への就労までつないでいく。

(2) 学費及び居住費の支援

現地の日本語学校及び県内の日本語学校、介護福祉士養成施設に在籍する外国人留学生の学費等に対して、県内の介護施設等が費用負担した場合の経費の一部を補助する。

3 千葉県外国人介護人材支援センター

外国人介護職員等に対する相談・支援等を一元的に行う「外国人介護人材支援センター」を7月1日に開設。ベトナム語と英語で相談に応じるほか、施設を対象とした説明会やメンタルヘルスセミナー、外国人職員の交流会などを実施予定。

4 外国人介護福祉士候補者、外国人技能実習生の日本語学習等にかかる経費の補助

経済連携協定（EPA）に基づく外国人介護福祉士候補者及び技能実習生を受入れる施設が負担する日本語学習等の費用を補助する。